

安城市総合計画審議会 第1分科会

第1分科会

No.	氏名	所属及び役職等
1	佐野 真紀	愛知教育大学 准教授
2	都築 豊彦	社会福祉協議会 理事
3	宮下 晴美	愛知県健康づくりリーダー連絡協議会 副会長
4	神谷 志穂	小中学校PTA連絡協議会 副会長
5	酒井 麻利子	株式会社キャッチネットワーク お客様満足創発本部
6	筒井 広治	ボランティア連絡協議会 会長
7	寺田 覚	町内会長連絡協議会 会長
8	戸田 こず恵	さんかく21・安城 幹事
9	近藤 裕己	
10	久恒 美香	教育委員

第2分科会

No.	氏名	所属及び役職等
1	鈴木 健司	日本福祉大学経済学部 准教授
2	安田 孝美	名古屋大学大学院 情報学研究所・情報学部 教授
3	渥美 純一	おひら中央農協協同組合 代表理事組合長
4	河田 光司	愛知信用金庫 専務理事
5	柴田 知幸	議会愛知三河西地域協議会 副代表
6	富田 清治	安城商工会議所 副会長
7	鳥居 卓司	明治用水土地改良区 事務局長
8	野村 直仁	青年会館所 理事長
9	山本 道生	
10	太田 良子	農協委員会 会長職務代理者

○第1分科会

【7月21日（金）】

- ・ 目指す都市像
- ・ 重点戦略
- ・ 分野別計画のうち
子育て
学校教育
福祉

本日の審議事項

【8月22日（火）】

- ・ 分野別計画のうち
市民参加と協働
文化芸術
健康・医療
スポーツ
生涯学習

○第2分科会

【7月21日（金）】

- ・ 目指す都市像
- ・ 重点戦略
- ・ 分野別計画のうち
農業
商工業
観光・交流

【8月24日（木）】

- ・ 分野別計画のうち
都市基盤
住環境
防災・減災
生活安全
環境
行財政運営

議題 (1)

第9次安城市総合計画 基本計画 (分野別計画)

4 市民参加と協働

しくみ

ちから

はしよ

関連する主な SDGsの目標



この分野で目指すまちの姿

市民、町内会、市民活動団体、事業者などが協働し、地域の課題解決に取り組むとともに、性別や国籍などの多様性を認め合い、市民一人ひとりが自分らしく輝き、活躍できるまちを目指します。

現状と課題

- ◆ 人口減少や少子高齢化などを背景とした地域課題の複雑化がみられることから、従来までの市民と行政による協働に加え、多様な主体の協働による地域課題を解決するための取組が必要です。
- ◆ ボランティア・市民活動に取り組む方の高齢化が進んでおり、新たな活動の担い手、特に次世代のまちづくりを担う若者がボランティア・市民活動に参加できるきっかけづくりが必要です。
- ◆ 町内会の会員数の減少や役員の高齢化などにより、町内会活動の担い手不足や停滞がみられ、地域コミュニティ活性化のために、町内会の運営や活動を支援する必要があります。
- ◆ 分かりやすく効果的な情報発信に努め、市政への参加を促進する必要があります。
- ◆ 職場や地域、家庭生活などあらゆる場面における男女平等の実現に向けた取組が必要です。
- ◆ 性的少数者への配慮など人権を尊重した、人々の多様性を認め合う社会づくりが求められています。
- ◆ 国籍などにかかわらずお互いを理解し、誰もが安心して暮らすことができる多文化共生のまちを目指す必要があります。

施策の取組

(1) 市民参加及び市民協働のまちづくりの推進

- ① 市民活動の活性化のため、市民活動団体に対して、活動場所及び情報の提供や財政面・組織面での支援を実施します。
- ② 市民、町内会、市民活動団体、事業者などが地域の課題を解決するため、市民交流センターを拠点とした話し合いや交流の場を提供します。
- ③ 地域コミュニティの活性化及び持続可能な活動のため、町内会の運営や活動を支援します。
- ④ ボランティア・市民活動に関与したいと考えている市民が活動に参加できるきっかけづくりを進めます。
- ⑤ 市民が市政に参加しやすくするため、SNSなど多様な媒体を活用した積極的な情報発信に取り組みます。

(2) 男女共同参画と多文化共生の推進

- ① 職場や地域における女性の活躍促進とあわせて男性の家庭参画を進めます。
- ② LGBT等、多様な生き方に対する理解を促進します。
- ③ 国籍にかかわらず市民が集い、交流を深め、互いに理解・尊重しあうことができる機会を提供します。
- ④ 外国人住民が暮らしやすい環境をつくるため、行政・生活情報の多言語化や相談体制の充実、日本語教育を推進し、コミュニケーションや生活の支援を行います。

成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
まちづくりを「自分ごと」として捉えている人の割合		
コミュニティ活動推進施策に対する満足度		
性別にとらわれず、子どもの個性を尊重するように育てた方がよいと考える市民の割合		

関連計画

- 第5次安城市男女共同参画プラン
- 第3次安城市市民協働推進計画
- 第2次安城市多文化共生プラン

施策の取組

8 文化芸術

しくみ ちから ばしよ

関連する主なSDGsの目標



この分野で目指すまちの姿

文化や歴史、芸術を市民が鑑賞・見学するとともに、主体的に文化芸術活動を行うことで、心の豊かさと幸せを実感するだけでなく、地域への誇りを育むまちを目指します。

現状と課題

- ◆ 施設や人材を確保し、文化振興に対する取組を行ってきましたが、今後は、福祉、教育、産業など他分野との連携した取組が求められます。
- ◆ 幅広い分野において芸術の鑑賞機会を提供しているものの、インスタレーションなどの時代と共に変化する新しい芸術の多様な表現を市民が身近に享受できる環境や仕組みの充実が求められています。
- ◆ 多様な視点を取り入れた文化芸術の振興や、市内で芸術活動を行っている人の発表の場の充実など、市民や関連団体との協働により、地域の力を巻き込んで文化芸術活動を振興していく必要があります。
- ◆ 休日の中学校部活動の段階的な地域移行への取組を契機に、子どもたちが文化活動を行うための環境整備と機会の創出に取り組む必要があります。
- ◆ 歴史資源の分野では、これまで保存事業を中心に取組んできましたが、その価値を一人ひとりが享受できる活用やそのための整備があまり進んでいない状況です。文化財を活用しながらの保存や整備、文化財を点ではなく面で考える総合的な保存活用、市民やボランティア団体と協働し、歴史資源を核にした「まちづくり」などを検討していく必要があります。
- ◆ 将来にわたって歴史資源を保存、蓄積していくとともに、時代や価値観の変化に対応しつつ、どれもが文化芸術による心の豊かさと幸せを実感できるように対応していくことが求められます。
- ◆ 文化芸術に関わるグループは、高齢化やアートマネジメント能力の向上が必要といった課題を抱えています。これら課題解決に向けた取組と次世代への発展的な継承が求められます。

用語の説明

(1)文化芸術活動の活性化

- ① 多様な人が文化芸術に携わり、楽しむ機会が得られるよう、イベントや展示会の内容、展示方法等を工夫します。また、情報発信についても方法や媒体などを検討し充実を図ります。
- ② 若い世代への様々な文化芸術活動や作品の鑑賞機会を充実させるとともに、積極的に文化芸術活動に携わる機会を提供することで、感性豊かな人材を育てます。
- ③ 魅力ある質の高い芸術作品を身近に鑑賞できる機会を増やすとともに、市民が時代の変化に応じた、多様で新しい芸術表現を享受できる環境を整えます。
- ④ 文化芸術活動に携わる人との協働を進め、公募型事業などを活用することで、様々な芸術活動を行う個人・団体に発表の場を提供し、活動を広く市民に紹介します。
- ⑤ 子どもたちの文化活動を充実させるため、休日の部活動の段階的・地域移行について検討していきます。

(2)歴史資源の保存と活用

- ① 国指定史跡本照寺境内の保存活用整備を進めるなど、歴史資源の保存や活用に取り組めます。
- ② 歴史資源や博物館を核に、市民やボランティア団体と協働で、まちの活性化につながる取組を進めます。また、活動に主体的に取り組むことのできる人材育成や環境を整えます。
- ③ 歴史資源の調査研究を進め、成果を子どもから大人までわかりやすく学んでもらえるよう、時代や価値観の変化に対応しながら新しい技術を取り入れ、歴史博物館の展示や歴史資源の魅力向上を図ります。
- ④ 歴史資源の広範囲で総合的な保存活用を目指すため、文化財保存活用地域計画の策定を検討します。

(3)アートマネジメント能力の向上

- ① 文化や歴史、芸術活動に携わる市民のアートマネジメント能力を向上させることで、市民の文化芸術活動の活性化を図ります。

成果指標

指 標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
安城の文化芸術・歴史に愛着や誇りを感じる人の割合		
文化芸術関係事業参加者数及び市民キャラクター入館者数(単年度)		
文化財関係事業参加者数及び歴史博物館等入館者数(単年度)		

関連計画

- 安城市文化振興計画
- 史跡本照寺境内整備基本計画
- 桜井古墳群保存管理計画
- 国指定史跡本照寺境内保存活用計画

9 健康・医療

関連する主な SDGs の目標



しくみ

ちから

はしよ

この分野で目指すまちの姿

市民一人ひとりのが、心身の健康への意識を高め、生涯を通じて健康づくりに取り組み、健やかに自分らしく生活できるまちを目指します。

現状と課題

- ◆ 子育てなどの家庭生活や仕事、趣味などの社会生活が多様化する中、生涯にわたりライフステージに合わせた健康支援が必要です。
- ◆ グループや地域コミュニティにおける健康づくり活動が実施されています。団体での活動は継続的な健康づくりにつながるため、引き続き促進し、個人の健康づくりにおいても継続できる仕掛けづくりが必要です。
- ◆ 病気の子防や早期発見に有効な健診（検診）を受ける人の割合は増えてきていますが、まだ十分とは言えません。市民一人ひとりが健康管理を自主的に行うような仕組みづくりが必要です。
- ◆ さらなる高齢化の進展に伴い、医療需要が高まる中、市民が健康で安心して暮らしていくためには、地域医療の一層の充実が必要です。
- ◆ 心のケアや自殺予防のために、心身の健康を促進する取組が必要です。

施策の取組

(1) 健康づくりの機会の拡充

- ① 企業などとも協力し、健康づくりに関心の薄い人や意識があっても行動に移せない人に、無理なく健康づくりに取り組むきっかけとなる様々な機会を提供します。
- ② 子どもから高齢者までライフステージに応じた、様々な健康づくりの機会を提供します。

(2) 継続的な健康づくりのできる体制整備

- ① 地域の健康づくり活動を担う人材を活用し、健康づくりに一緒に取り組む仲間づくりを進めます。
- ② 健康づくりの行動へのインセンティブなど、健康づくりの継続を後押しする環境を整備します。

(3) 健康管理の支援

- ① 病気の子防や早期発見につながる各種健診（検診）の受診率向上のための取組を進めます。
- ② 野菜の摂取や栄養バランスのとれた食生活の改善に向けた取組を支援します。
- ③ 乳幼児期から歯と口の健康について啓発を進めるとともに、健診（検診）の受診を促します。
- ④ 医療・健診（検診）データなどをもとに、健康増進に関する課題を分析し、対策につなげます。

(4) 地域医療体制の充実

- ① かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の普及促進を図ります。
- ② 医療需要の増大に対応できる体制を充実させるため、保健・福祉との連携を強化し、地域全体の医療連携（地域医療）を推進します。

(5) こころの健康づくり

- ① 自殺対策を推進するため、関係部署や関連団体との連携体制を構築します。
- ② こころの健康づくりに関する普及啓発などの取組を推進します。
- ③ ゲートキーパーなど、自殺対策に関わる人材を育成します。

成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
健康であると感じている人の割合		
日ごろから健康づくりを実践している人の割合		

関連計画

- 第2次健康日本21安城計画 ●第2次いのちを支える安城計画（安城市自殺対策計画）
- 第4期安城市国民健康保険特定健康診査等実施計画
- 第3期安城市国民健康保険データヘルス計画 ●第3次安城市食料・農業・交流基本計画
- 第2期安城市子ども子育て支援事業計画

10 スポーツ

関連する主なSDGsの目標



しくみ ちから はしよ

この分野で目指すまちの姿

市民が「する」「みる」「おしえる」「ささえる」の様々な立場から気軽にスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康で活力ある暮らしができるまちを目指します。

現状と課題

- ◆ 健康増進や楽しみのために、「する」「みる」「おしえる」「ささえる」といった様々な立場から気軽にスポーツに親しめる環境の充実が必要です。
- ◆ スポーツに馴染みの薄い人が関心を持ったり、気軽に始めたりするためのきっかけを創出することが重要です。
- ◆ 休日の中学校部活動の段階的な地域移行への取り組みを契機に、関係団体などと連携を密にし、子どもたちがスポーツを楽しむための環境整備と機会の創出に取り組む必要があります。
- ◆ 市民のニーズや利用状況などにより、身近な場所で気軽に安心してスポーツが楽しめるよう、施設の充実と適切な管理に取り組む必要があります。
- ◆ プロスポーツチームや地域のスポーツチームなどとの連携により、地域の活性化とスポーツへの関心を高める必要があります。
- ◆ 第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の開催という絶好の機会を捉え、その開催気運の醸成につながる取り組みにより、スポーツに対する興味や関心をよりいっそう高める機会の創出を図る必要があります。

施策の取組

(1)「する」「みる」「おしえる」「ささえる」スポーツの振興

- ① 健康の増進とスポーツを始めるきっかけづくりのため、ラジオ体操の普及を図ります。
- ② 誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことのできる環境を充実するとともに、全国大会などにおける活躍の機会が増えるよう競技力の向上に取り組みます。
- ③ スポーツをみる楽しさを感じ、さらにスポーツをするきっかけにつながるよう、関心の高い競技やトップレベルの試合が観戦できる機会の充実を図ります。
- ④ 優れた指導者の養成により、安全に楽しく、質の高い指導が行われることで、子どもの健全な成長や夢の実現を図ります。
- ⑤ スポーツ推進委員、ボランティア及び協賛企業などが最大限に力を発揮できる環境を整え、スポーツをサポートする体制の強化を図ります。
- ⑥ 子どもたちのスポーツ環境の充実のため、休日の部活動の段階的な地域移行について、関係団体と連携しながら進めます。

(2)スポーツ施設環境の整備

- ① 市民ニーズや利用状況などにより、既存施設の改修や新たな施設整備の調査研究を行い、適正な整備・配置及び維持に努めます。

(3)スポーツ団体の支援・育成

- ① 地元企業とのスポーツ連携の強化を図り、トップレベルの選手による技術指導会や交流機会を創出します。
- ② 本市を新たな活動拠点とするプロスポーツチームと連携し、市民に対するチーム認知度向上を図ることにより、市民がチームを応援する気運を醸成します。
- ③ スポーツ団体の認知度向上を図るため、情報提供をはじめとした活動支援を行うとともに、新たな団体の育成に取り組みます。

(4)国際・全国大会開催に伴うスポーツの振興

- ① より高みを目指す子どもたちや選手を支援します。また、市民のスポーツへの興味・関心を高めるとともに地域活力の一層の向上を図るため、国際・全国大会の誘致など、スポーツを「みる」環境の更なる充実を図ります。
- ② 第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）に関する情報の周知や出場選手の紹介、交流機会の創出などに努めることで市民のスポーツへの興味・関心の向上を図ります。

成果指標

指標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
成人の週1回以上のスポーツ実施率		
市主催スポーツ事業参加者数		

関連計画

- 第2次安城市スポーツ振興計画改訂版

11 生涯学習



関連する主な SDGs の目標



この分野で目指すまちの姿

市民が、いつでもどこでも生涯を通じて、自分らしく主体的に学習することができ、人や地域との絆を深めるとともに、新たな価値観や行動を生み出すことができるよう生涯学習環境が充実したまちを目指します。

現状と課題

- ◆ 人生100年時代と言われる、ライフスタイルや価値観の多様化に伴い、だれもが学べる多様な生涯学習の充実が求められています。
- ◆ 時代の潮流や市民の学習ニーズを把握し、それらに対応した講座の充実が求められています。
- ◆ 多くの市民が生涯学習に取り組んでいますが、講座や教室等の受講生の世代構成を見ると、若者、働く世代の市民が少ない状況です。
- ◆ 定年延長に伴い、生涯学習に取り組む時期が遅れたり、逸する場合は考えられ、その結果、生涯学習を通じて市民活動に移る活動の担い手が減少している現状があります。
- ◆ 人と人とのつながりの希薄化が地域における教育力の低下、家庭の孤立化などの課題へとつながっていることから、公民館などを地域住民の学習の場や仲間づくりの場として、地域総がかりによる社会とのつながりの再構築が求められています。
- ◆ 地域全体で子どもの育ちを支えていくために、地域と学校の連携・協働を一層進めていくことが重要となっています。
- ◆ 休日の中学校部活動の段階的な地域移行への取り組みを契機に、子どもたちが主体的に多様な生涯学習活動に参加できる機会の創出に取り組む必要があります。
- ◆ ハイブリッド型図書館として、従来の紙媒体の資料と電子書籍などのデジタル資料の収集のほか、オンラインデータベースなど、きめ細やかなサービスの充実により、読書を通じた豊かな暮らしの提供と多様な課題解決に対応していくことが求められています。

用語の説明

施策の取組

(1) 多様なニーズに応じた学びの機会の提供

- ① 市民ニーズやライフステージ、時代の潮流に合った幅広い分野での学習機会を提供します。
- ② ものづくり文化など地域資源を生かした学習機会を提供します。
- ③ プラネタリウムの利用促進と、プラネタリウムを活用した天文普及を図ります。

(2) 学びの成果を地域に生かすつながりづくり

- ① 公民館講座から結成された自主グループの育成と相互交流など、地域の絆づくりを進めます。
- ② 生涯学習の拠点である公民館を利用するきっかけとなる公民館まつりなどのイベントへの参加を促し、地域住民同士が交流を深めるように推進します。
- ③ 地域と学校が目標を共有し、連携・協働する地域学校協働活動を進めます。
- ④ 公民館が地域と更なる連携を図り、公民館を核として地域住民が地域を知り、地域に愛着を覚える「公民館プライド」の醸成を図ります。

(3) 市民の主体的な学びを支える環境づくり

- ① 生涯学習の総合的な情報をいつでもどこでも入手でき、スムーズに活動へ移せる環境づくりを進めます。
- ② 市民自らが企画・運営する講座を実施します。
- ③ 新しい指導者の発掘や育成を進め、指導者情報を整備し、講座等の開設を支援します。
- ④ 地区公民館をはじめとする生涯学習施設の修繕などを計画的に進めるとともに、利用しやすい施設の運営を行います。
- ⑤ 中学生が自主的に多様な生涯学習活動に参加できる機会の確保するため、中学生も参加できる講座の情報を集約し発信します。

(4) 図書館サービスの拡充

- ① ICTを駆使した図書館では、電子書籍やオンラインデータベースなど、電子媒体のサービスを充実し、より身近に利用できるよう、情報提供を行います。また、紙媒体の資料は、将来ニーズや社会情勢を踏まえて収集し、多種多様な資料を迅速に提供します。
- ② 図書館では、市民のニーズに応えるため、課題解決のためのレファレンスサービスをはじめ、様々な図書館サービスを行います。さらに、子育て支援、健康支援、ビジネス支援など、生活に密着したサービスの提供を行います。
- ③ 図書館の集客力と情報力を活用し、新たな利用者を増やしたり、利用者同士の交流を深めたり、ボランティアと連携するなど、市民の文化的交流拠点となる取り組みを行います。
- ④ 子どもの読書推進のため、本の読み聞かせサービスの提供や学校図書館との連携など、子どもの読書環境の充実を図ります。

成果指標

指 標	策定時の値(2023年度)	目標値(2031年度)
生涯学習に対する満足度		
地域学校協働本部 設置率		
市民一人あたりの図書館年間貸出冊数(単年度)		
図書館等の実利用者数(単年度)		

関連計画

- 第4次安城市生涯学習推進計画
- 安城市図書館運営基本計画
- 第4次安城市子供読書活動推進計画